

第1回臨時会（5月）

◆議案第1号

龍ヶ崎市国民健康保険条例の一部を改正する条例について

国民健康保険の被保険者が、新型コロナウイルス感染症に感染し、又はその疑いのために、労務に服することができず、給与等の収入が得られなかった場合に、「傷病手当金」を支給することができるようにするため、改正を行おうとするものです。

◆議案第2号

令和2年度龍ヶ崎市一般会計補正予算（第2号）

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ、79億4064万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ、335億9236万1千円とするものです。

全て新型コロナウイルス感染症対策に関するものです。

（主な事業等）

- ・特別定額給付金給付事業
- ・生活困窮者自立支援事業
- ・ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業
- ・子育て世帯臨時特別給付金給付事業
- ・新型コロナウイルス感染症対策

- ・策資金貸付事業
- ・学校給食費返還等事業



▲特別定額給付金が給付されています

第2回定例会（6月）

◆議案第7号

龍ヶ崎市介護保険条例の一部を改正する条例について

介護保険法施行令の改正に伴い、低所得者の第1号保険料の軽減を図るもので、第1段階から第3段階までの方に対する保険料の軽減措置の減額幅を拡大するため、改正を行うものです。

◎質疑

金剛寺議員 新型コロナウイルス感染症の影響により、第1号被保険者の世帯を主として維持する者の収入が30%以上減となった場合などが、介護保険料減免の要件となることについて、事業収入減の認定方法を伺います。

福祉部長 申請時点において、本年中のそれまでの期間のうち一定期間を設定し、その期間について対前年比で30%以上減少している場合となります。また、減少することが見込まれる事業

収入等に係る所得以外の前年の所得の合計額が400万円以下であることも条件となります。

◆議案第8号

令和2年度龍ヶ崎市一般会計補正予算（第4号）

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ、3億4651万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ、340億566万6千円とするものです。

（主な事業等）

- ・プレミアム付商品券事業
- ・事業継続特別家賃支援事業
- ・保育対策総合支援事業
- ・大学生等緊急支援事業
- ・小学校・中学校教育振興費



▲対象の大学生は給付金が受け取れます

◆議案第21号

令和2年度龍ヶ崎市一般会計補正予算（第5号）

議会費について、行財政視察の中止等により、議会活動費を174万5千円、議会事務局費を23万4千円、合わせて197

万9千円を減額するものです。あわせて、議会費の減額を原資として、今後の新型コロナウイルス感染症対策の財源に充てるべく、財政調整基金への積立金197万9千円を計上するものです。

◆報告第1号

専決処分の承認を求めることについて（龍ヶ崎市条例等の一部を改正する条例について）

市民税関係では、未婚のひとり親に対する税制上の措置及び寡婦控除等の見直しのための改正等を、また、固定資産税関係では、登記名義人等の死亡の場合の現所有者の申告の制度化や、使用者を所有者とみなして課税できる制度の拡大など、所有不明土地等に係る課題への対応のための改正等を、その他法改正に伴う引用条項の改正など、所要の改正を行ったものです。

◎質疑

伊藤議員 未婚のひとり親に対する税制上の措置及び寡婦控除の見直しがあります。改正の具体的な理由について伺います。

市民生活部長 婚姻歴の有無や性別に関わらず、生活を一に子を持つひとり親控除、控除額30

万円を適用するものです。扶養する子のいない寡婦や子以外の扶養親族を持つ寡婦については、控除額26万円を適用します。なお、ひとり親控除・寡婦控除には、500万円以下の制限があります。また、個人住民税の非課税措置も併せて見直され、見直し後のひとり親を対象としています。

なお、これらの改正は令和3年度分以後の個人住民税について適用されるものです。

◆報告第18号

専決処分の承認を求めることについて（令和2年度龍ヶ崎市一般会計補正予算（第3号））

既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ、6679万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ、336億5915万2千円としたものです。

コロナ禍の厳しい情勢に直面し、特に速やかな支援を要する事業について、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源として、予算化したものです。

（主な事業等）

- ・地域経済持続・活性化事業
- ・感染拡大防止協力事業者等支援事業
- ・テイクアウト推進応援事業

・放課後等デイサービス利用者支援事業



▲出前やテイクアウトで市内の飲食店を応援

▽第2回臨時会（7月）

◆議案第1号

令和2年度龍ヶ崎市一般会計補正予算（第6号）

既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ、6679万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ、336億5915万2千円としたものです。

コロナ禍の厳しい情勢に直面し、特に速やかな支援を要する事業について、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源として、予算化したものです。

（主な事業等）

- ・出産育児支援特別給付金
- ・ひとり親世帯臨時特別給付金

◎質疑

久米原議員 保育従事者応援事業と、学童保育ルーム従事者応援事業について、対象者数と支給方法について伺います。

福祉部長 保育従事者応援事業は、保育士、保育教諭、幼稚園

教諭のほか、感染対策業務に従事したあらゆる職種の職員を対象とし、市内の民間保育施設21施設の合計で、約550人を見込んでいます。

支給方法については、市から事業者に対し、利用定員に応じて20万円から80万円の応援交付金を交付し、その後、事業者から保育士等へ手当として支給する予定です。

教育部長 学童保育ルーム従事者応援事業は、本年4月から5月の学童保育利用自粛要請期間中から継続して、本市の学童保育業務に従事している支援員及び支援補助員を対象とし、従事した月数に応じ、1人1ヶ月当たり1万円を支給するもので、対象者数は109名です。

支給方法は、保育ルームの運営受託事業者から一括して、補助金を申請していただき、当該事業者を経由して対象者に支給する予定です。



▲保育士、学童保育業務従事者等を支援

◎質疑

札幌議員 街なか元気アップ支

援事業について、すでに協議している団体があればお示しくください。

市長公室長 本事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んでいる地域経済を活性化するために、市内での消費を喚起することを目的に商工会に協力いただき展開している、「龍ヶ崎ありがとうアクション」キャンペーンの一環として実施するもので、商工会との調整の中で、秋に販売を予定している20%のプレミアム付商品券に先駆けて、インパクトがある事業として、より高いプレミアム付商品券の販売事業が提案されている状況です。

◎質疑

石嶋議員 事業継続緊急支援事業について、対象要件を伺います。

産業経済部長 市内で事業または農業を営む法人及び個人で、前年同月と比較して、売上減少率が20%以上50%未満の月があることとし、事業を営む法人及び個人においては前年1年間の事業による収入がその他の年間収入の合計を超えていること、さらに年間の事業収入が100万円以上の事業者であることとします。

また、農業を営む個人におい

ては、令和元年度分の農業に係る所得金額が、年間の総所得金額の50%を超えることなどの要件を設けています。

なお、売上等の減少を算出する事業対象期間は、前年同月と本年1月から12月までのいずれかの一月で比較します。



▲持続化給付金制度の対象外の方を支援

◎質疑

山崎議員 新型コロナウイルス感染症緊急防災対策費について、現時点における具体的な活用計画を伺います。

危機管理監 感染症対策物品や発電機、サーキュレーターなどの発電、熱中症対策物品は、災害発生時に、第一次避難所として開設を予定している市内小学校、旧長戸小学校、旧北文間小学校など、計13施設に配備する予定です。

また、飛沫感染防止対策として、避難所内の間仕切り設置を予定していますが、間仕切りの備蓄場所は水害を想定し、高台にある小学校など9校に、100セットずつ整備する方向で進めます。